

来て見て永平寺町

観光ボランニュース

永平寺町観光ボランティアガイドの会 広報紙 第14号

令和5年2月17日 発行

<発行元>

永平寺町観光ボランティアガイドの会
永平寺町松岡神明3-107(永平寺町観光物産協会内)

TEL (0776) 61-1188

ご挨拶

皆様には健やかに、新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

令和3年県内へ12,356千人の観光客が訪れる中、今日の旅行トレンドは、観光地を見て回ることから、「リアリティ」を求める地域などを深く知る形態に移行しています。さらに、自分が暮らす地域の観光資源や歴史、自然を案内する観光ガイドが希求されています。当然ながら、地域を愛する気持ちを持った人による会話・説明はやはり旅行者的心に響き残るものです。

ニューツーリズムの重要な要素に「地元の人との交流」があります。観光ボランティアガイドは、地域観光の活性化を担いますし、活動そのものが旅行者と地域との出会いであり、地元の人との濃密な交流ができます。

当会では、令和2年度から「松岡十二曲り、上志比地区、永平寺地区のまちあるきガイドブック」を作成して、町内の知られた観光施設のみならず隠れた歴史と魅力ある施設を紹介しています。このガイドブックを手にとり、愛する永平寺町を今一度振り返る機会とされ、さらに観光情報発信者としての一助になることを願っています。

永平寺町観光ボランティアガイドの会 会長 前川治一

ガイド活動報告①

「松岡歴史散策」ガイド報告

実施日時 令和4年6月4日(土) 午後2時30分～
実施場所 永平寺町松岡地区
参加者 23名

あわら観光による「江戸期の名残 松岡歴史散策」のツアーに私含めて2名で案内しました。「えい坊館」を拠点に「松岡十二曲り」を主として、街並みの歴史や名前の由来など、特に梵鐘についての説明には、興味深く耳を傾けていただき、メモを取る方もいらっしゃいました。

次に、国登録有形文化財のえちぜん鉄道松岡駅や周辺の見学をしたあと、御館の椿に。殿さまが愛したと伝えられる椿とあって、みなさん真剣に聞いてくださいり、屋敷跡や椿を見入るように眺め、思い思いに話が弾み、大変盛り上がりしました。「松岡生まれやけど知らんかった」「勉強になった」「ゆっくりとまた来たい」の声に満足していただけたように思いました。このコロナ禍にガイドをできたことも意義があったと思います。

(吉田 静子)



ガイド活動報告②

「上志比まちあるき」のツアーガイドを行いました。

実施日時 令和4年10月16日(日) 午前9時～
実施場所 永平寺町上志比地区
参加者 18名

この2・3年コロナ禍でボランティアガイド案内が中止になっていましたが、去る10月16日(日)ようやく開始。久しぶりの案内に前日、自分なりにリハーサルし集合場所のえちぜん鉄道竹原駅にて参加者を迎めました。町内外の参加者18名の方を最初に「華蔵閣・興行寺」の本堂、華の蔵ミュージアムを案内し、次に向かったのは、顕如上人を偲び毎年「顕如講」が行われている「善教寺」を訪れ庭園も拝見し所要時間を考えながら「弁財天白龍王大権現」へび神様に向かいました。

参加者は興味津々岩穴を覗き込みましたが御神体は拝めず残念でしたが、この上志比の最強のパワースポットめぐりも良かったと参加者の談でした。ゴール地点「禅の里道の駅」まで30分余り急ぎ足ながらも石上地区の「夢地蔵様」、清水地区の「赤井家の馬上門」のガイドで案内を終了。

ボランティアガイドとして何より嬉しいことは参加者の皆さんのが笑顔と和気あいあいの中、上志比の史跡・名所の案内に興味を持ってくださった事がとても励みになりました。

(多田美知子)



地元再発見

あたごこうえん あたごやま
(愛宕公園・愛宕山)

白雲橋を渡ると愛宕公園がある。この公園は明治42年(1909)9月20日、嘉人皇太子殿下(後の明治天皇)が永平寺へ行啓されたことを記念して開園されました。

この公園より愛宕山々頂まで「觀世音菩薩」33体が奉祀され明治43年開眼供養がなされています。

愛宕山は永平寺法堂正面の山で本山鎮守愛宕大権現を祀る。愛宕山頂から眺める本山の全景はすばらしい。

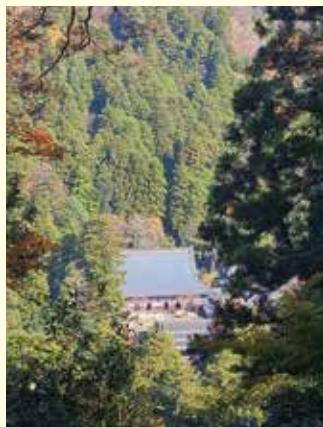
御堂には永平寺73世熊沢泰禪禪師撰の「愛宕山増崇記」がある。毎年9月1日には大衆(修行僧)と門前衆が一緒に詣りして供養しています。

また、中腹には「護國觀音堂」があり、戦没者を弔っています。

☆中腹までの距離431m、山頂までの距離670m

☆中腹まで約20分、山頂まで30~40分

(中村 勝美)



県内先進地視察研修参加報告

一乗谷朝倉氏遺跡博物館見学と 県内ボランティアガイドとの情報交換会

実施日時 令和4年10月15日(火) 午前9時~

実施場所 一乗谷朝倉氏遺跡博物館及び福井県国際交流会館

参加者 永平寺町観光ボランティアガイドの会より3名参加

「福井県観光ボランティアガイド」研修会が開催されました。当日、県内各地より76名が参加し、午前は、一乗谷朝倉氏の歴史・遺跡を保存会の方による案内による現地視察研修が行われました。また、10月1日に開館した朝倉遺跡博物館の基本展示室には、朝倉氏の歴史と城下町一乗谷について約170万点の豊富な出土品が展示されており、様々な生活用品や職人の道具、武器武具、文化的な暮らしぶりなど学芸員の説明を聞き、朝倉遺跡の奥深さ魅力をいっそう感じ、当時の隆盛が偲ばれました。



日本で一番古い花壇「朝倉館跡庭園」、岡本太郎も絶賛「湯殿跡庭園」などまた、ゆっくりと探訪したくなりました。
(多田美知子)

今庄地区にて視察交流研修を行いました。

実施日時 令和4年11月22日(火) 午前9時~

実施場所 南越前町今庄地区

参加者 当会会員7名及び今庄観光ボランティア協会3名

9時に松岡(えい坊館)を出発。初冬の南条今庄地区に入り、冬の厳しさに触れた思いに駆られた。南条地区の古寺二ヶ寺を訪れ、年月の流れと共に由緒が置き去りにされている想いでした。中でも、慈眼寺は古い歴史と共に栄華の名残を感じられた。昼食は、らんたんという店で、今庄そばをいただき、この店の特徴は今庄産の名酒を飲み放題という「上戸」の方にはうれしい事でしょう。

午後は、今庄宿の研修です。ガイドさんの時間を感じさせない説明や誘導は素晴らしいものでした。昔を偲びながら楽しい研修でした。街道の終点に昭和会館があり、ここは今庄の偉人、田中和吉氏の寄進とのこと。ここで今庄観光ボランティアとの意見交換会が行われ、互いに発言の交換で得るところが沢山ありました。今庄観光ボランティア協会は運営のすべてを独自で行っているとのことでした。楽しい思い出を胸に帰路につきました。
(西 芳子)



永平寺町地区のまちあるき ガイドブックを作成

一昨年の松岡地区、昨年度の上志比地区に続き、本年は永平寺町地区のまちあるきガイドブックを作成いたしました。

今後とも永平寺町の各地区的歴史・文化、自然風土などを学び、整理していく予定です。
(事務局)



永平寺町観光ボランティアガイドの会 新規会員募集中!!



おもてなしの心を大切にし、訪れる方に、永平寺町の自然・歴史・文化といった魅力を一緒に紹介していきませんか。

お問合せ

TEL 0776-61-1188

永平寺町観光物産協会内事務局まで